

## 眼科

### 初期研修医オリエンテーション計画

#### 知識、実践技能の習得（研修可能期間）

##### レベル1 （第1～4週）

検査技術：屈折検査・自動眼圧計・視力測定・細隙倒頭顕微鏡と倒像鏡の使い方  
手術室：手術器械の種類・繊細な器具の構造や種類の理解。第2助手による介助の体験  
外来での検査を開始。教授陪席での外来診療の経験。

##### レベル2 （第5～6週）

検査技術：接触式眼圧・隅角観察・眼軸長測定・超音波Bモード・涙管通水・角膜内皮撮影・  
眼底スケッチ  
手術室：手術器械の構造や機能を知り、第1助手による手術顕微鏡での術野を観察し立体  
視ができるようになる。  
入院患者の受け持ちを開始

##### レベル3 （第7～8週）

検査技術：眼底カメラ・蛍光眼底造影・OCT・前眼部カメラ・ハンフリー視野  
手術室：手術器械を自らセットアップし、その操作や、器械の特性を体得する。豚眼による  
手術訓練。

##### レベル4 （第9～12週）

検査技術：前置レンズでの眼底観察(Super Field, Quadra, Ora mirror)・中心フリッカー・  
色覚・眼球突出・ヘス・ERG・シルマー・綿糸法・ローズベンガル  
手術：顕微鏡下での結膜縫合から開始する。

##### レベル5 （第13～16週）

検査技術：ゴールドマン視野・HRT・GDx・UBM・双眼倒像鏡・検影法・角膜知覚検査  
手術：接眼レンズによる眼底観察ができるようになっていれば網膜光凝固などの顕微鏡  
下レーザー手術

##### レベル6 （第17～20週）

検査技術：斜視検査眼位・輻輳・両眼視/マドックス、メガネ処方法、調節検査  
手術：超音波白内障手術の部分的な執刀・緑内障術後の laser suturelysis・急性閉塞隅  
角（緑内障）へのレーザー周辺虹彩切開術

レベル1～2は担当指導医による直接指導、レベル3～は各専門外来にて分担指導

○研修実施責任者：井上 俊洋

○研修指導責任者：井上 俊洋

○連絡先：眼科 医局 5247